第16回 定期大会 議案書

2022年2月27日(日)14時～17時

主な プログラム

動画の記録をしていますが公開しません。
発言については議事録として記録しますが同意なく公開することはありません。

アイスブレイク　20分（今日の気分は色に例えると自己紹介 呼ばれたい名前）
話し合いのルール

第15期 昨年度の活動報告（2021年1月～12月)(40分）
・各グループから
・決算案 報告
　質疑応答　承認

休憩（10分）

第16期 今年度の計画予定（30分）
・来年の活動予定 計画 小グループの決まっていること
・予算案
・質問や意見交換　承認

＜グループワークショップ＞進行
・今後、どんな小グループをやりたいか 話してみよう 1グループ 3から4人
　グループ分け進行
・小グループで（30分）（進行役の配慮）全体でシエアして（30分）

・一言振り返り、会員からお知らせ（20分）

話し合いのルール(案)を紙に書いて，追加したいことがあるか確認する

1）参加すること，しかし参加しないのも自由

2）尊重
どんな意見でも尊重する
個人には優しく問題には厳しく
私は，を主語に話す
他の人の意見に、客観的、第三者的に意見を言わない
レッテルを貼らない
人の話しているときに割りこまない
人の意見を傾聴する
人が話をしている時に、隣の人と話さない
理解を深める質問は多いにしましょう！！

3）時間を平等に使う
一人だけ長く話さない
発言する機会を平等にする
話をそらさない
時間を守る
結論が出ない話題・テーマにそわない話題の一時保管の場所を作る

4）守秘義務
個人的体験など参加者からでた経験談はWS内だけの共有とする

【活動報告】

昨年の定期大会　呼びかけから

「女性の財布も運動も困窮する、貧しくてもバトンをつなぐ」

～わたしも ACW2 も、互いに生きのびるために～

日程｜2021 年 2 月 27 日(土)

2020 年の定期大会はコロナ禍の中、感染者は限られていてリアルな宿泊ありの定期大会でした。その後、4 月には緊急事態宣言があり学校も企業も商店の多くが連休明けまで休業、ステイホームを強いられました。非正規労働者の多くが雇い止めになり、そのしわ寄せは女性非正規を直撃しました。また同時にエッセンシャルワーカーという人間の生活に欠かせない労働の多くは女性の非正規雇用によって担われている事も明らかになりました。生存権が脅かされる時代になり、女性の自殺率が昨年比 40%も増えました。法人格を持たない NGO の ACW2 は財政困窮に陥り無料のホットラインの電話回線も 1 回線に減らし交通費の支払いもできなくなりました。しかし、その後、カリタスジャパンさんと WAN さんの助成金を得て何とかホットラインを元に戻しコロナ禍の中でも消毒などに万全の注意を支払いながら電話相談を続けられました。「相談員トレーニング」や「対話の土壌をかもすワークショップ」、「小グループ」や「運営委員会」も全てオンラインに切り替えて続けてきました。定期大会どうするという議論を運営委員会で、かもしあいました。そこで来年は避けては行けない ACW2 の組織運営の持続可能性を考える表記のテーマで合意がされました。ACW2 の活動が出来ているのも陰で準備をする運営委員の存在があります。女は貧乏だ、貧乏だから組織されないという「迷信」を覆したいのです。私たちの道のりは厳しく一世代でなんとかなるものではなさそうです。短所も長所も強みも弱みも、葛藤も対立も糧にして次のステップへあなたの参加をお待ちします。

上記は、昨年の呼びかけです。

　コロナ禍の中で ACW2 の組織の在り方を「運営委員会方式」から会員相互の関係性を重視する「ソシオクラシー型(小グループ)」への変革を長時間の対話の中で合意しました。例年休むことなく続けられていた相談員トレーニングなどの活動も、立ち止まり少数へ負担が集中している事務作業の棚卸をしたりマニュアル化し役割を交代して各グループの意思決定を尊重する方法への転換をしました。また新たに小グループを作るために必要なことを対話の土壌をかもす講座として学びあいました。 非正規雇用の多い ACW2 の会員の財布も困窮して生活困窮者支援金助成や、休業助成金、住宅給付金、などの支援も十分とは言えませんが何とか生き延びた人たちも多く、会費が支払えないので一時退会するという人も多くいました。

そのような中でも、2021年度会員の推移は、(2021 年 12 月 31 日現在)

入会者 11 人、退会 5 人　正会員 328 人、サポート会員 62 人　計 390 人です。

1. 第 15 回はたらく女性の全国センター　定期大会報告

2021 年 2 月 27 日、第 15 回定期大会を ZOOM にて開催し、39 名の方が参加しました。

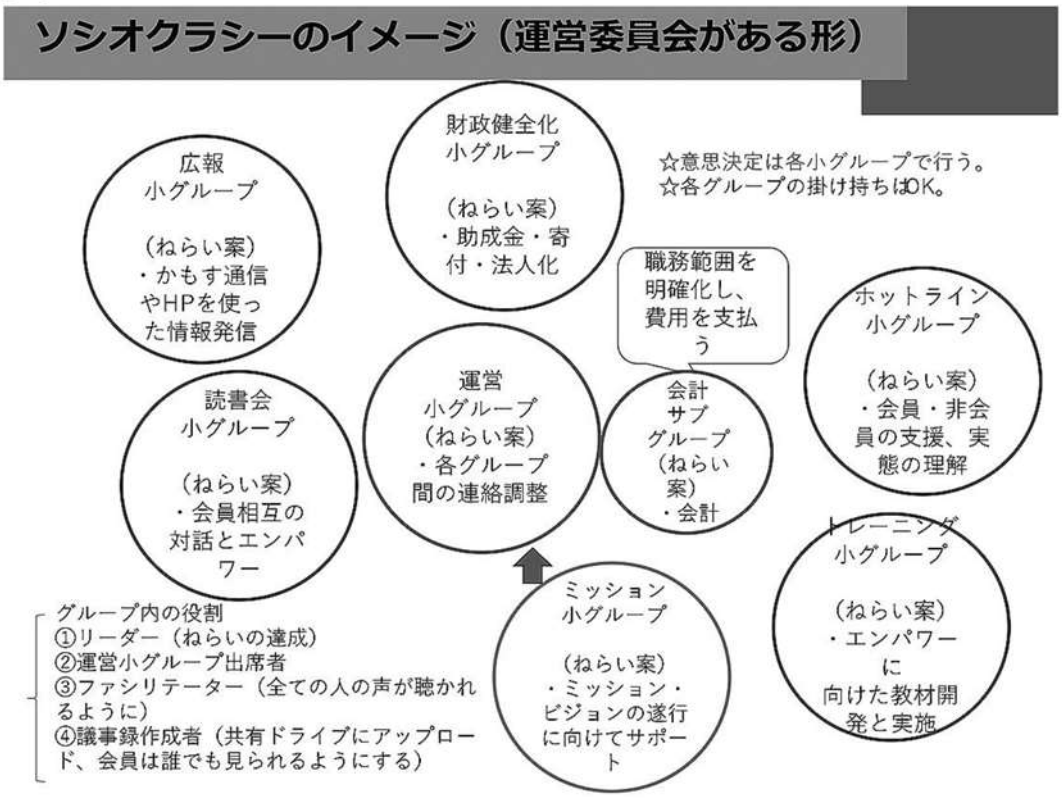
大会の第 1 部では、ACW2 が発足してから 15 年の活動を労働環境の変化とともに振り返り、現状と課題を共有し、第 2 部で ACW2 との関わりとこれからのことを話し合いました。

第 1 部　ACW2 15 年の振り返りと現状、そして課題

・はたらく女性の全国センター 15 年を振り返る（伊藤みどり）

・現在の状況（小園弥生）＋今後の課題（小谷幸・金美珍）

参考1:



はたらく女性の全国センターの課題を踏まえての提案―米国・韓国の事例を参考に―
小谷 幸（会員:米国の事例から）・金 美珍（運営委員:韓国の事例から）　かもす通信2021年5月号より

第2部　ACW2 の今後を考える

・マイストーリー 4 名（ACW2 にたどり着いたきっかけ、ACW2 に今後期待するもの）

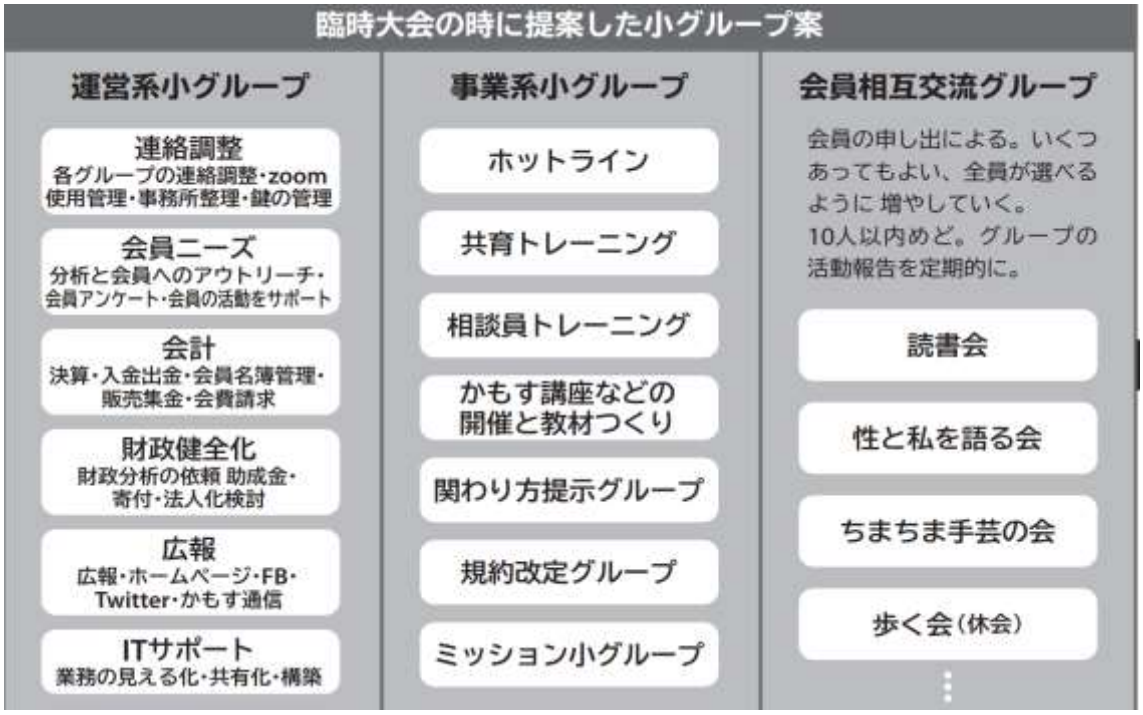
・グループセッション（ACW2 で自分がやりたいこと＆できることを考える）

＊第 15 回はたらく女性の全国センター（ACW2）定期大会　34 人参加

※下記の URL 先から資料が 見れます http://wwt.acw2.org/?p=5318

・会員アンケート（2021 年 2 月 13 日現在 63 人回答）

2. 臨時総会｜ 2021 年 8 月 7 日(土) 14 時～ zoom
運営委員会型から小グループ型へ 意思決定の仕方を転換することに



ACW2業務　棚卸し		
会計管理	1	会計のデータ入力（入出金）
	2	会計のデータ出力と報告
	3	会費未納入者チェックと催促
	4	月払いの支払い・振り込み
会計健全化	5	カンパ・会費入金確認
	6	カンパへのお礼ハガキ郵送
	7	ギブワンからの入金確認・報告
会員管理	8	入会・退会届の確認と報告
	9	入会・退会者へのメール返信
	10	入会・退会: 会員名簿更新
	11	新規会員への配布物郵送
	12	入会・退会者のML登録・削除
広報	13	かもすブックレット・いのちパンフ販売
	14	映画の貸し出し
	15	ホームページ管理
	16	FB、Twitterへの投稿、管理
	17	ギブワン更新手続き
事務所管理	18	電話対応（留守番電話）
	19	郵便物確認
	20	事務所整理・ファイリング
	21	消耗品チェックと注文・受領
ホットライン	22	電話相談の相談員配置
	23	フリーダイアルの割ふり
	24	電話相談の状況まとめ
	25	ホットラインの振り返りの会
相ト	26	相談員トレーニング
通信	27	かもす通信制作
	28	かもす通信印刷・宛名出力・封入
講座	29	かもす講座
未整理	30	問い合わせへのメール対応
	31	Yahooのアカウント管理?
	32	WAN/労働新聞メルマガ転送
	33	大会議事録作成・ACW2会員MLに報告
	34	運営委員会議題作成
	35	運営委員会主催
	36	会員アンケート実施
	37	分科会活動
	38	収入がみこめる活動を考える（例: 連続講座）

<1対1の対話の重要さ>

人々を集めてACW2に加入してもらうために、その人たちと1対1で会うことは何よりも大事です。親睦会や小グループは、だいたい組織で活発に活動している人による個人的な出会いから始まり、時間を経て小グループに発展していきます。

1対1で会って話せば、

◆個々人に対しての理解を深めることができます。

◆会う人について、より深く理解でき、親密になることができます。

◆ACW2の中での不満や活動に対する考えを理解することができます。

◆ACW2に対する人々の意見を一番正確に理解することができます。

◆1人ひとりが参加することが大事だということをうまく伝えられます。

◆会員1人ひとりの可能性を見出すことができます。

◆大勢の人がいる場所で積極的に発言することができない人にも、自分の意思を示す機会を持つことができます。

◆相手にとって、「自分が尊重されている」と感じることができます。

◆個々人について把握ができるので1人ひとりの可能性を伸ばすような機会を提供することができます。

2021年　かもすワークショップ
小グループの作り方の資料から引用

＜小グループ活動の報告＞

☆ 事務グループの活動

・月に2回、事務所に行って、家賃・電気代、電話料金等の支払い、銀行、郵便局の入出金を確認します。会費や寄付金などの確認。会員情報の確認をして、入金・出金伝票、振替伝票を記入して会計ソフトに入力、現金等の確認をします。

・ホットライン、かもす通信等での事務所来所者への交通費等を精算します。

☆ 広報グループの活動

かもす通信 2 回発行

2021 年 5 月発行 51 号 特集：定期大会で今後のことを決めることができなかったので、8 月の臨時総会までに話し合って、ACW2 の組織を変えるよ

2021 年 10 月発行 52 号 特集：臨時大会、その後

☆ はたらく女性の全国ホットライングループ

1）2021 年のホットライン報告

・相談日は 0 と 5 のつくごとう日および第 2・第 4 日曜日（5/5,12/30 は休み。計 90 日）。各 3 時間、フリーダイヤル 2 回線で実施。

・拠点は東京（ACW2）、大阪（働く女性の人権センター☆いこる）、福岡（WWV）、新潟（おんなのユニオンにいがた）の 4 か所で分担して相談を担当。ボランティア相談員は合計約 25 名（東京は相談員トレーニング修了者）。相談振り返りの会は 2 回、オンラインで実施した。

・相談件数は年間 290 件。コロナ下、「人間関係」「いじめ」「暴言」といった仕事環境についての相談はやや減り、「雇用関係」「労働条件（悪化）」の相談が増加傾向にあった。
また、ステイホームと関連してか、家族関係、近所、健康問題等も聞かれた。

・相談者の雇用形態では、さまざまな「非正規雇用」が全体の約半数、次いで「無職」、「正規雇用は第 3 位となっている。近年は「無職」相談者も増えている。（詳細は次ページ）

2）助成金完了報告

・前年夏から 2021 年 3 月まで「WAN（ウィメンズ・アクション・ネットワーク）」、また 2021 年 8 月まで 1 年間「カリタス・ジャパン」のコロナ下での特別助成を合計 132 万円得て、ホットラインを継続実施した。

・これにより、フリーダイヤル 2 回線を確保し、ボランティア相談員の交通費（1 回 1000 円）を各拠点で支給。相談員も増員し、安定した態勢で実施することができた。

2021年の「はたらく女性の全国ホットライン」の相談状況報告

「はたらく女性の全国ホットライン」は、現在、ACW2（東京）、おんなのユニオン・にいがた（新潟）、働く女性の人権センター・いこる（大阪）、ワーキング・ウィメンズ・ヴォイス（福岡）の４つの団体のメンバーが担当をしている。

2021 年 1 月 1 日～12 月 31 日は、毎月、5 と 0 のつく日と第 2・4 日曜日に実施し、相談件数は 280 件であった。

「はたらく女性の全国ホットライン」は 2007 年11月からスタートした。

2008 年からの毎年の 1 年間のホットラインの相談件数の変化は下記のとおりである。2013 年の 435 件を最高にそれ以降は、若干相談件数は減少傾向にあった。

2020 年に相談件数が 231 件と特に減少したのは、「はたらく女性の全国センター」の経済状況から、一時期ホットラインの回線を 1 回線にせざる得なかったことも影響している。

詳細については、ＡＣＷ２の定期大会で報告するので、是非ご参加ください。

（1）相談者の年齢

表１は相談者の年齢層の人数とその割合である。50 代が最も多く 106 人で、8.6%で、2 番目に多かったのは 40 代の 70 人で 25.0%であり、40 歳代以上で、全体の相談者数の 7 割以上を占めている。

年齢	人数	割合
未回答	34	12.1%
10 代	1	0.4%
20 代	8	2.9%
30 代	30	10.7%
40 代	70	25.0%
50 代	108	38.6%
60 代以上	29	10.4%
合計	280	100%

表 1

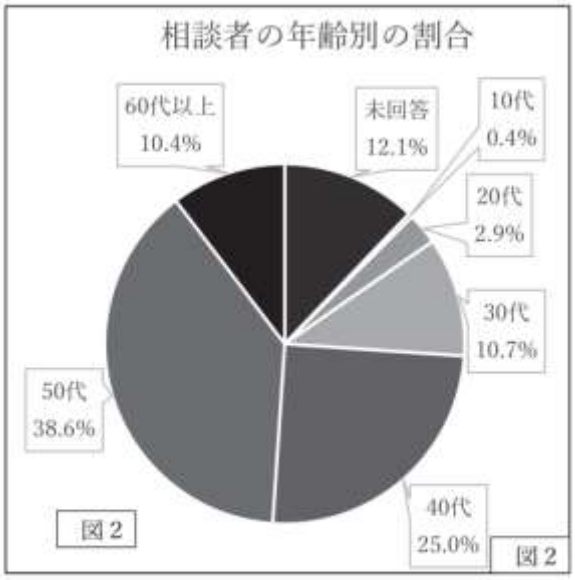


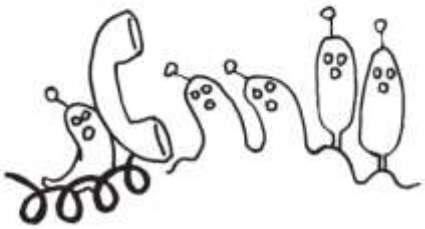
図２

（2）相談者の雇用形態

雇用形態	人数	割合	人数
未回答	37	13.2%	37
正社員	38	13.6%	42
正公務員	4	1.4%	
短時間パート	33	11.8%	131
フルタイムパート	33	11.8%	
契約社員	15	5.4%	
登録派遣	9	3.2%	
常用派遣	5	1.8%	
日雇い派遣	2	0.7%	
請負・委任・委託	2	0.7%	
アルバイト	10	3.6%	
非常勤	13	4.6%	
嘱託	9	3.2%	
無職	60	21.4%	60
その他	10	3.6%	10
合計	280	100.0%	280

表 2 は、相談者の雇用形態別の人数及びその割合である。
正社員が最も多く、38 名で 13.6%、短時間パート、フルタイムパートが 33 名で 11.8%である。

正規、非正規別でみると、正規社員 42 名に対し、非正規社員は 131 名で、3 倍以上が非正規社員の相談である。



（3）相談者の職種

職　種	人数	割合
未回答	105	37.5%
事務職(一般)	60	21.4%
事務職(総合)	4	1.4%
営業職	0	0%
管理職	1	0.4%
専門・技術職	37	13.2%
教員	2	0.7%
接客・販売	22	7.9%
現場（工場・現場作業，配送，清掃等）	29	10.4%
その他	20	7.1%
合計	280	100%

表 2

表３は､相談者の職種別の人数及びその割合である。

相談者の職種で最も多いのは事務職（一般）の 60 名で 21.4%であり、2 番目に多いのが専門・技術職の 37 名で 13.2%、3 番目に多いのが現場（工場・現場作業、配送、清掃等）で、29 名、10.4%である。

（4）相談者の勤続年数

勤続年数	人数	割合
未回答	105	37.5%
1 年未満	38	13.6%
1 年以上 5 年未満	78	27.9%
5 年以上 10 年未満	25	8.9%
10 年以上 20 年未満	26	9.3%
20 年以上 30 年未満	8	2.9%
30 年以上	0	0.0%
合計	280	100%

表 3

表４は、相談者の勤続年数の人数とその割合を表したものである。

勤続年数は、1～5 年未満が 78 名、27.9%で最も多く、2 番目に多いのが 38 名、13.6%の 1 年未満であり､4 割が 5 年未満の相談者である。

（5）相談内容

表５は、相談者の相談内容を分類したものである。

最も多いのは、「その他」の 69 名で 24．6%2 番目に多いのが「その他の人間関係」の 49 名、17.5%である。「その他」には、就職や転職活動、退職するかどうか、今後の仕事・生き方、履歴書の書き方，職業訓練、夫や子ども等との家族との関係や家族の心配、近所トラブル､医療機関との関係も含めた健康問題など様々な相談が寄せられている。

相談内容については、2021 年と 2012 年からの 10 年間の比較してみた。いわゆる「パワーハラスメント」に属する暴言、暴力、仕事干し、仕事荷重、無視、いじめその他の相談が 10 年間の平均は 13.8%であったが、2021 年は 6.8%と減少している。2020 年 6 月からは大企

業、2022 年 4 月からは中小企業も含めて「パワーハラスメント防止法（労働施策総合推進法 30 条の２）」が施行されることになり、行政機関での相談がしやすくなったことが、相談者の減少につながっているのだろうか。

相談内容	2021 年	10 年間	2021 年		10 年間	
			人数	割合	人数	割合
未回答	57	211	57	20.4%	211	6.1%
暴言	9	172	19	6.8%	477	13.8%
暴力		4				
仕事干し		22				
仕事過重		48				
無視	1	38				
いじめその他	9	193				
セクハラ	12	187	12	4.3%	187	5.4%
その他人間関係	49	682	49	17.5%	682	19.8%
解雇・雇い止め	8	151	8	2.9%	151	4.4%
退職勧奨	3	41	3		41	
退職できない	0	29	0		29	
倒産・閉鎖	2	4	0		4	
雇用保険	0	15	0		15	
偽装請負	0	3	0		3	
雇用不安	6	136	6		136	
その他雇用関係	14	148	14	5.0%	148	4.3%
長時間労働	1	26	1		26	
サービス残業	2	29	2		29	
有給休暇	1	37	1		37	
その他労働時間・休日	2	44	2		44	
減給	2	16	14	5.0%	144	4.2%
時間・休日の変更	4	35				
職務の変更	1	22				
雇用形態の変更	2	20				
配転・転勤	1	21				
その他不利益変更	4	30				
出産・育児	4	45	4		45	
病気・休職	2	62	2		62	
社会保険(年金・健康保険)	0	8	0		8	

その他福利厚生	0	7	0		7	
賃金格差	2	17	2		17	
低賃金		19	0		19	
仕事内容	9	153	9	3.2%	153	4.4%
労災・安全・衛生	4	47	4		47	
ホットラインについて	0	7	0		7	
労組について	0	4	0		4	
役所について	0	3	0		3	
連絡先等の問い合わせ	0	4	0		4	
その他	69	711	69	24.6%	711	20.6%
合計	280	3451	280	100.0%	3451	100.0%

表 4

（6）ホットラインをどこで知ったか？

情報元	人数	割合
未回答	107	38.2%
その他新聞	1	
インターネット	70	25.0%
知人	4	1.4%
その他	98	35.0%
合計	280	

表 5

表５は、ホットラインの情報を「どこで知ったか」である。

最も多いのが、98 名、35%のその他である。その他には、男女共同参画センターなどの行政機関の窓口や行政機関に設置している「ホットラインカード」、講座での情報提供などがある。

また、インターネットで知ったという人も 70 名、25%で多いので、今後、SNS 等を活用して広報していくかが鍵となると考える。

知人を通して知った人の割合が減っていることは、心を留めておく必要のある課題である。

☆「知って役立つ労働法講座」

2021 年①第 1 回(7/31)②第 2 回(8/21)③第 3 回(9/18)の 10 時～12 時 30 分で、Zoom を利用して「知って役立つ労働法講座」を開催した。
参加は全回でも単発でも参加でき、参加費もスライディングスケールにして、参加者が、自分の興味や都合に合わせて参加しやすいように配慮した。
講座内容は厚生労働省の「知って役立つ労働法」のテキストの基礎的な知識をベースに、労働基準法とその他の労働法の違い、新たに制定された「パワハラ防止法(労働施策総合推進法 30 条の2)、未払い賃金の請求方法等、働く人が職場のトラブルで困った場合に具体的に役立つ内容を盛り込んだ。
講座の進め方は、配布資料に基づいて説明を行い、その後、グループに分かれて、参加者自身のこれまでの労働問題の体験について意見交換を行い、学んだ内容の理解を深めた。
参加者は延べ 30 名で、Zoom での開催だったので、遠方からの参加者もあった。講座終了後の 9 名の方のアンケートは、非常に満足 6 名、満足 3 名で、グループセッションを取り入れたことは、「グループ相談会のようだった」「疑問を気軽に話すことができてよかった」等の意見もありおおむね好評だった。

☆共育小グループ

☆小グループ作りのための『かもすワークショップ』
ピラミッド型ではなく、「運営・課題趣味など」ごとに小グループを作り、サポートし合う組織(ソシオクラシー型)への変革を進めるためにはどのようにすればよいかを、韓国やアメリカの教材を参考にしてワークショップを行いました。毎回、9～12 名の参加者があり、みんなの持っている力を尊重して小グループ活動を進めるためにはどのようにしたらよいかを学びました。
●第 1 回 私と ACW2
開催日 10/24(日)14:00～17:00 進行役 伊藤みどり
●第 2 回 みんなでやりたいこと
開催日 11/28 (日)14:00～17:00 進行役 おーやん
●第 3 回 小グループを作るトレーニング1
開催日 12/19(日)14:00～17:00 進行役 伊藤みどり
●第 4 回 小グループを作るトレーニング2
開催日 1/16(日)14:00～17:00 進行役 おーやん
●第 5 回 小グループの運営ワークショップ
開催日 2/20(日) 14:00～17:00 進行役 伊藤みどり
＊上記は、ホームページで公開 http://wwt.acw2.org/?p=5563

☆ 読書会小グループ　　.

グループ読書会では、人種や社会階級など立場にとらわれない多様な女性を含めるフェミニズムとはどのようなものなのか、またそうしたフェミニズム思想が志向する実現可能な社会のあり方はどのようなものなのかについて月 1 回の日程で意見を交わしながら楽しく学んでいます。
これまで会で取り上げている本の例としては、ブラック・フェミニズム、最近では特に労働と女性という観点から、ネオリベラリズムをキーワードに現代の日本社会の様相をポスト・フェミニズムと絡めて理解するためのものがあります（文末の参考文献リストをご参照ください）。

・ 小グループの参加について合意したこと
読書会で取り上げてきた本に関連する基礎知識をお持ちの方で、毎月 1 回参加することがができる方であればどなたでも歓迎しています。現在のグループは 9 名で定着していますが月 1 回の読書会に参加できる方で希望の方は、後 3 人まで（最大 12 名まで）と話し合って決めました。（基本的に優先的に参加できる方で読書の傾向を見ていただき賛同する方で先着順とさせていただきます）。途中入会を希望される方は
bookdiscussion1@acw2.org までご連絡ください。
＜小グループ読書会で取り上げた本＞
フックス, B.（2017）.（野崎佐和・毛塚翠, 訳）
【ベル・フックスの「フェミニズム理論」：周辺から中心へ.】.あけび書房.
アルッザ,C., バタチャーリャ.B., & フレイザー, N.（2020）.
【99%のためのフェミニズム宣言】.愛由惠, 訳. 菊池夏野, 解説）. 人文書院.
菊池夏野.（2019）.
【 日本のポストフェミニズム：「女子力」とネオリベラリズム.】 大月書店
トロント,J.& 岡野八代.（2020）.
【ケアするのは誰か:新しい民主主義の形へ】. 白澤社. …現在読書中

☆ちまちま手仕事の会
　ちまちま手仕事の会は月に一度、オンラインまたは事務所での対面で開催しています。参加者は 4～7 名くらいです。2021 年 11 月、12 月は一年以上！ぶりに対面で開催しましたが、コロナの感染拡大に伴って再び ZOOM 開催に戻っています。刺繍や編み物、漫画やイラスト作成などそれぞれの手仕事をしながら、日常のあれこれやオススメの本や映画、政治のことなどを2時間くらい話しています。対面の時は韓国料理屋での二次会が恒例だったので、次はいつ食べられるかな！？と寂しい気持ちもありますが、しばらくはオンラインにて、でもお互いの手は止めずに続けていきたいです。手芸に興味のある方がいらしたら、ぜひ。初心者同士で教えあいましょう。

☆性と自分を話す会

　性と自分を話す会は、定期大会で行われていた「LGBT&アライの会」「セクマイ（セクシュアルマイノリティ）の会」に参加していたメンバー有志が始めた会です。性にまつわる様々なことをわかち合います。性に関する話題なので、ごく繊細な話題も多いです。安心して話ができるように、前身の会の開始時から毎回クローズドで行なっています。参加メンバーがお互いに、少しずつ少しずつ信頼を積み重ねて時間をかけて作ってきた会です。性に関する深いわかち合いのできる場になってきていると感じます。

＊現在、メンバーの話を聴きやすい人数に達しているため、新しいメンバーの募集はしていません。

☆その他　会員の主な活動（ML への投稿から）

〇【3/20】はむねっと発足1周年　ハイブリッド集会　hiseiki.koumu@gmail.com
〇ホームヘルパー国賠訴訟　介護職の賃上げ労働条件抜本改正にむけて活動
〇連続講演会「ケア労働とジェンダー」
主催　フォーラム労働・社会政策・ジェンダー運動研究会
第１回　講師　伊藤みどり
第２回　講師　山根純佳さん（実践女子大教員）
第３回　講師　森　詩恵さん（大阪経済大学教員）
〇フリーランスの権利に関する政党アンケート結果
〇『連帯はどう作れるか　～組織づくりと行動に活かす批判的暗黙知の実践と研究～』
〇フリーライターA さんの裁判報告
〇性暴力支援　DV 支援

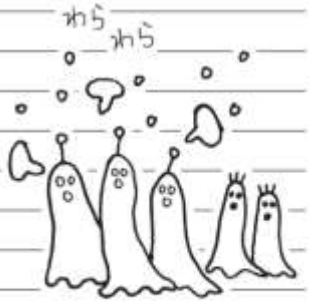
活動報告１月～7月

毎月　５日、10 日、15 日、20 日、25 日、30 日　ホットライン
１月 17 日(日)　 性と私を語る会　登録制（zoom）
１月 22 日(金)　 ちまちま手芸の会(zoom)
１月 21 日(木)　 読書会『日本のポストフェミニズム』第４回(zoom)
１月 31 日(日)　第 12 回　ビジネスミーティング
１月 31 日(日)　第 12 回　ビジネスミーティング
２月 18 日(木)　読書会『日本のポストフェミニズム』第５回 ZOOM
2月 19 日(金)　ちまちま手芸の会　ZOOM
２月 21 日(日)　第 13 回ビジネスミーティング
２月 27-28 日　第 15 回定期大会
３月 21 日(日)　性と私を語る会　登録制（zoom）
３月 25 日(木)　読書会『日本のポストフェミニズム』第６回　ZOOM
３月 28 日(金)　ちまちま手芸の会　ZOOM
４月 18 日(日)　14 時～　 ビジネスミーティング
４月 22 日(木)　読書会『99%のためのフェミニズム宣言』読書会　第１回 ZOOM
４月 23 日(金)　ちまちま手芸の会　ZOOM
５月 16 日(日)　性と私を語る会　登録制（zoom）
５月 21 日(金)　ちまちま手芸の会　ZOOM
５月 27 日(木)　読書会『99%のためのフェミニズム宣言』読書会　第２回　ZOOM
５月 30 日(日)　ビジネスミーティング
６月４日(金)　ちまちま手芸の会　ZOOM
６月 27 日(日)　ビジネスミーティング
７月1日(木)　『99%のためのフェミニズム宣言』読書会　第３回(zoom)10 人
７月1日(木)　ホームヘルパー国賠訴訟アンケート記者会見
７月５日(月)　公務非正規労働従事者への緊急アンケート第一次報告　記者発表
７月6日(火)　会計１人
７月 16 日(金)　　ちまちま手芸の会(zoom)6 人
７月 17 日(土)　　性と私を語る会　登録制（zoom)4 人
７月 17 日(土)　　公務非正規労働従事者への緊急アンケート　オンラインでの報告会
７月 20 日(火)　ホームヘルパー国賠訴訟　東京地裁 709 号法廷　1:15～23 人
７月 21 日(水)　　事務局会議(zoom)　２人
７月 25 日(日)　第５回ビジネスミーティング　４人
７月 29 日(木)　　『99%のためのフェミニズム宣言』読書会　第４回(zoom)
７月 31 日(土)　 第１回　労働法講座(ZOOM)　　女性労働問題研究会　集会参加

活動報告６月～10 月

８月１日(日) 14 時から運営委員会

8月5日(木)	会計、ホットライン
8月7日(土)	臨時大会　34人？
8月8日(日)	ホットライン　福岡
8月10日(火)	ホットライン　東京
8月13日(木)	手芸の会　5人
8月15日(日)	ホットライン　福岡
8月19日(木)	読書会 『99%のフェミニズム宣言』 ８人
8月20日(金)	会計、ホットライン　東京
8月21日(土)	第2回　労働法講座
8月22日(日)	ホットライン　福岡
8月25日(水)	ホットライン　大阪
8月30日(月)	ホットライン　新潟
8月31日(火)	会計



9月4日(土)	会計
9月5日(日)	ホットライン　福岡
9月10日(木)	ホットライン　東京
9月12日(日)	ホットライン　福岡
9月15日(水)	ホットライン　大阪
9月18日(土)	第3回　労働法講座、性と私を語る会4人
9月20日(月)	ホットライン
9月21日(火)	ホームヘルパー国賠訴訟＆裁判報告会　50人
9月22日(水)	手芸の会
9月23日(木)	読書会 『99%のフェミニズム宣言』 9人
9月25日(土)	ホットライン　東京
9月26日(日)	ホットライン　福岡
9月28日(火)	同志社高校インタビュー　　明治学院大学の講座の打ち合わせ　伊藤
9月30日(木)	会計、請求書つくり発送、ホットライン

10月24日(日)より月1回　　共育小グループ(準)企画
ACW2会員限定　小グループ活動を進めるための「かもすワークショップ」(全5回)開講
ホットライン　毎月 5日、10日、15日、20日、25日、30日。第二、第四日曜がプラスです。

活動報告10月～12月

10月5日(火)	会計、ホットライン東京
10月10日(日)	ホットライン福岡
10月15日(日)	会計、ホットライン東京
10月20日(水)	ホットライン大阪
10月22日(木)	手芸の会5人ZOOM
10月24日(土)	第1回小グループ活動を進めるための「かもすワークショップ」12名
	ホットライン福岡
10月25日(月)	ホットライン新潟
10月26日(月)	28日(木)　29日(金)　かもす通信印刷発送作業延べ6人
10月28日(木)	読書会「ケアするのは誰か？ 新しい民主主義のかたち」現代書館8人
10月30日(土)	会計ホットライン東京
11月5日(金)	会計ホットライン東京
11月10日(水)	ホットライン東京
11月14日(日)	ホットライン福岡
11月18日(木)	会計
11月19日(金)	介護労働者実行委員会厚生労働省、財務省と交渉
11月20日(土)	ホットライン東京
11月22日(月)	メトロコマース最高裁判決報告集会主催女闘労倶楽部
	非正規公務問題瀬山紀子さん、ホームヘルパー国賠訴訟報告伊藤
11月23日(火)	性と自分を話す会ZOOM4人
11月25日(木)	ホットライン大阪
11月26日(金)	ちまちま手芸の会リアル+ZOOM5人
11月27日(土)	明治学院大学非正規雇用問題で伊藤報告
11月28日(日)	第2回小グループ活動を進めるための「かもすワークショップ」9名
	ホットライン福岡
11月30日(火)	ホットライン東京
12月2日(木)	読書会「ケアするのは誰か？ 新しい民主主義のかたち」現代書館8人
12月3日(金)	会計
12月5日(日)	ホットライン福岡
12月10日(金)	ホットライン　東京
12月12日(日)	ホットライン福岡
12月15日(水)	ホットライン大阪
12月17日(金)	調整連絡会議
12月19日(日)	第3回小グループ活動を進めるための「かもすワークショップ」8名
12月20日(月)	ホットライン新潟
12月25日(土)	ホットライン東京
12月26日(日)	ホットライン福岡
12月28日(火)	会計
12月30日(木)	ちまちま手芸の会リアル+ZOOM7人

決　算　書

2021年度
ACW2
2021年 1月 1日～2021年12月31日

（単位：円）

科　　目	予算額	決算額	予算差異	摘　　要
正会費	1,450,000	825,000	625,000	3000円として　2021年度　275人
サポータ.通信会費	150,000	117,000	33,000	2021年度　　39団体・個人　3000円として
寄付金	700,000	425,707	274,293	44人　GIVEONE156360円
講座収入	20,000	58,300	-38,300	労働法講座、かもす講座
雑収入	100,000	16,265	83,735	かもすワークブック、いのちのパンフ　有料電話
受取利息	0	6	-6	
繰越金	2,040,889	2,040,889	0	
山上映画貸出料（収益分）	0	0	0	
【収入合計】	4,460,889	3,483,167	977,722	
会議費	50,000	0	50,000	
広告宣伝費	350,000	114,091	235,909	かもす通信2回発行
旅費交通費	550,000	175,000	375,000	ボランティアのべ175人　交通費1回1000円
通信費	400,000	250,877	149,123	かもす通信発送費2回分、Zoomの契約更新、ホームページドメイン更新料、請求書2回分
電話料金	85,000	90,731	-5,731	NTT電話基本料2本
光熱費	50,000	46,121	3,879	電気代
家賃	417,000	417,000	0	34,750円×12
消耗品費	100,000	9,429	90,571	消毒費など
事務用品費	300,000	198,800	101,200	パソコン1台
雑費	80,000	34,650	45,350	労働新聞
リース料金	320,292	229,080	91,212	コピー機リース14,580円×12
支払手数料	10,000	6,802	3,198	
人件費	0	30,000	-30,000	会計事務　1回5000円（交通費込み）
講師謝金	260,000	242,000	18,000	昨年度相談員トレーニング謝金3人分、定期大会謝金、労働法講座謝金
雑損失	0	0	0	
予備費	1,038,597	0	1,038,597	
フリーダイヤルホットライン	450,000	449,279	721	フリーダイヤルホットライン通話料金
【支出合計】	4,460,889	2,293,860	2,167,029	
当期収支差額	0	1,189,307		

令和　3　年　12　月　31日　　上記のとおり、報告いたします。

会　計　　松岡　年　　㊞

会計監査の結果、適正に処理されていたことを認めます。

会計監査　　浅井真由美
　　田中　かず子

来年の活動予定　小グループの決まっていること

新**＜財政再建チーム始動＞**　現在　少数の対話開始して募集中　FY@acw2.org

・貧乏でも安心女性でも安心な　ケアしあう協同組合コーポラティブハウス設立に向けて
・労働者協同組合について体験者からの学び　参考図書　「協同ではたらくガドブック」
インド自営女性協会 SEWA の取材で有名な喜多村百合さん(予定)、
ワーカーズコープのテキスト講師予定　ゆめ応援ファンド助成金申請済（3 年継続助成）
休眠口座の活用―家賃と人件費を申請できる。JACEVO　参照
会員アンケート　協同組合の準備とともに何ができるか、経済状況、やりたいこと等
・丸幸ビルの賃貸契約　2024 年 5 月まで

＜運営　事務・会計系＞　募集中

連絡調整　　小グループの連絡調整　ML 作成　office@acw2.org
事務・会計　Administration@acw2.org

＜広報系＞募集中

かもす通信の発行　4 回発行　　tsushin@acw2.org
ＳＮＳ、ホームページなど発信

＜相談・ホットライン＞募集中

ホットライン　hotline@acw2.org

＜労働法講座＞募集中　rodoho@acw2.org

＜教育トレーニング＞　募集中

共育チーム　（相談員トレーニング 4 月～10 月全 6 回受講生募集中、　かもす講座予定）
Education@acw2.org

＜趣味、など　会員交流＞

読書会　ケアするのは誰か　3 月か 4 月で読了予定 bookdiscusson1@acw2.org
ちまちま手芸の会　join@acw2.org

性と自分を語る会　sexushariti@acw2.org

そのほか　会員で新しいグループ　今年できそうなこと　募集中

例　非正規公務　フリーランス、非正規シングル　散歩の会、ＩＴ整備　ミッション検討

おしゃべり会　読書会パート２　動画発信　・・・　単発講座…　フェミニズム講座

☆ ＜介護労働者　交流会＞

介護労働者の賃上げと労働条件の改善活動は裁判原告軸に動き出してます。　募集中

ホームヘルパー国賠訴訟支援

2022年第16期予算書

2022年度
ACW2
2022年 1月 1日～2022年12月31日

（単位：円）

科　目	予算額	摘　要
正会費	984,000	最低3000円として　2022年度　328人×３000円
サポータ.通信会費	186,000	2022年度　62団体・個人　3000円として
寄付金	700,000	GIVEONE　その他
講座収入	670,000	労働法講座、かもす講座、相談員トレーニング、労働者協同組合講座
雑収入	20,000	かもすワークブック、いのちのパンフ　有料電話
受取利息		
助成金	243,000	ゆめ応援ファンド、休眠口座活用　社会連帯ファンド
繰越金	1,189,307	
山上映画貸出料（収益分）		
【収入合計】	3,992,307	
会議費	50,000	
広告宣伝費	350,000	かむす通信4回発行
旅費交通費	200,000	ボランティア　交通費1回1000円×200人分
通信費	400,000	かもす通信発送費4回分、Zoomの契約更新、ホームページドメイン更新料、請求書4回分
電話料金	90,000	NTT電話基本料2本
光熱費	50,000	電気代
家賃	417,000	34,750円×12
消耗品費	50,000	消毒費など
事務用品費	200,000	パソコン1台
雑費	50,000	労働新聞
リース料金	230,000	コピー機リース14,580円×12
支払手数料	10,000	
活動費	240,000	会計事務　1回5000円×４×12か月
講師謝金	470,000	相談員トレーニング謝金、労働法講座謝金、協同組合講座謝金
雑損失		
予備費		
フリーダイヤルホットライン	450,000	フリーダイヤルホットライン通話料金
【支出合計】	3,257,000	
当期収支差額	735,307	

*誰もが参加できるようにボランティアの交通費を支払っています。交通費は不要という方の寄付は大歓迎します。